

## みなくち子どもの森 園内のニホンアカガエル卵塊数のモニタリング結果(短報)

(2009～2016年)

★ 2016年春は、例年の2倍近い卵が確認されました(2009年から増加傾向です)

水田の周囲の土掘りの溝の手入れを定期的に行うことで産卵場所が増えたこと、雑木林の管理によって日光が射し込むことで、カエルの餌となる小さな生き物が増えた可能性があります

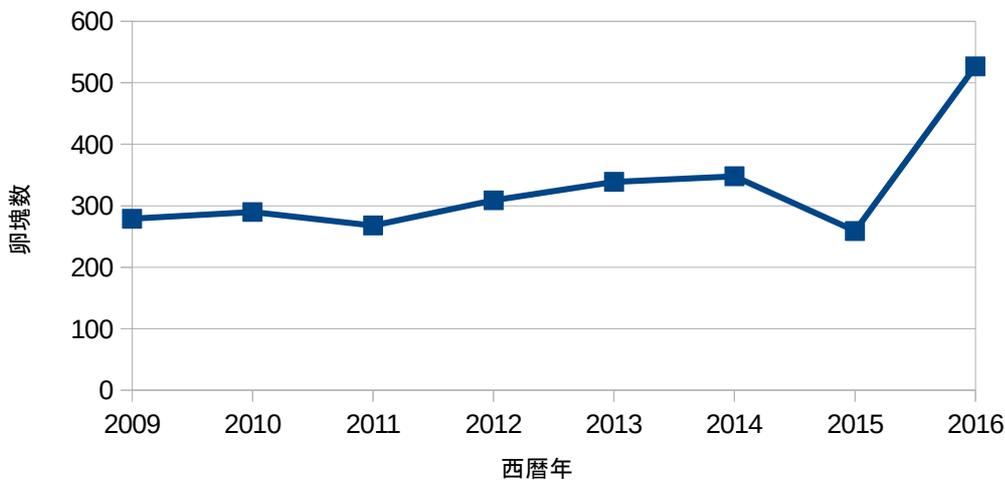
★ この3年間(2014～2016年)は暖冬化の影響か、産卵が開始される時期が早くなりました(1月下旬)。一方で2月に寒の戻りがあり、産卵数のピーク時が二山型になる傾向にあります



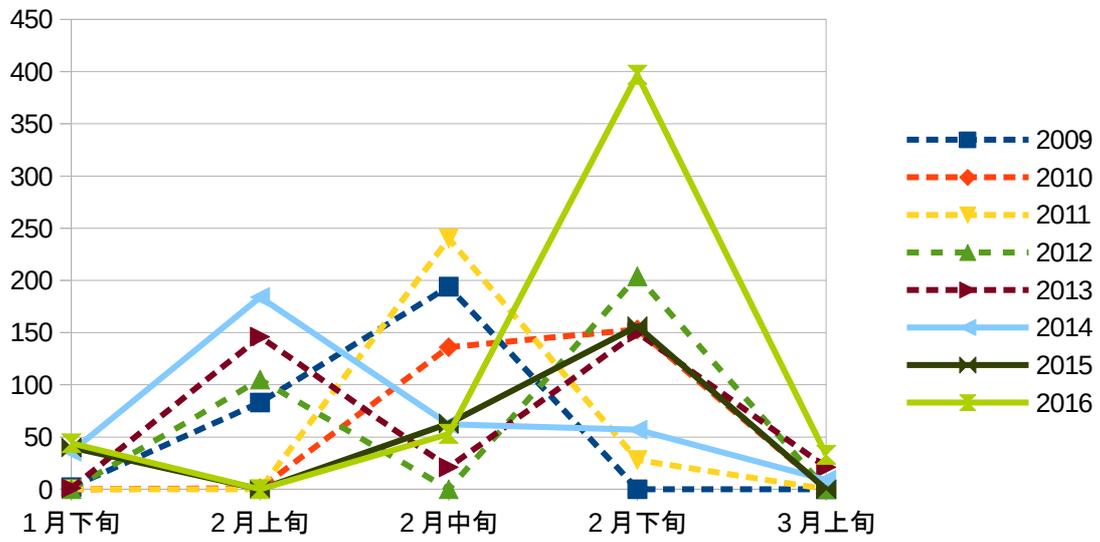
ニホンアカガエルの雌



ニホンアカガエルの卵塊



園内のニホンアカガエルの産卵数(2009年～2016年)



ニホンアカガエル産卵時期(1月下旬～3月従順)の年別比較



体験農場の水田と周囲の土掘りの溝の様子



水辺の周囲にある雑木林の手入れの様子